

化学物質は私たちの生活を豊かにし、また、便利で快適な毎日の生活を維持するうえで欠かせないものとなっております。現在、原材料や製品など、いろいろな形で流通している化学物質は数万種類といわれています。私たちは、意識するしないにかかわらず、日常生活や事業活動において多くの化学物質を利用し、それらが大気や水、土壌を通じて排出しています。そうした化学物質の中には環境や人の健康に影響を及ぼすおそれがあるものがあります。

化学物質と上手につきあっていくためには、身の回りの化学物質の環境リスク^{※1}を正しく理解するとともに、市民、事業者、行政が協力して環境リスクを減らす取組を進めることが求められます。

PRTR 制度は、この環境リスクを考える際に重要な化学物質の排出・移動情報を、国が集計、公表する仕組みです。

このガイドブックは、そのための基礎的な情報をまとめたものです。後ほど紹介する化学物質フアクトシート、かんたん化学物質ガイド（65 ページ）等の色々な情報源を活用しながら、化学物質の性質や身近な製品中の成分、化学物質の環境中への排出状況や体の取り込み量などについて関心を持ち、考えることが重要です。

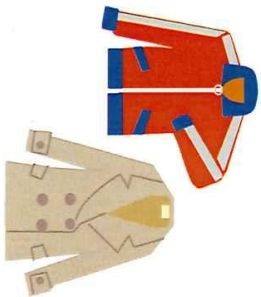
食品類

- 安曇香酸、ソルビン酸など(保存料)
- 食用赤色2号など(合成着色料)
- 残留微量化学物質



衣料品

- ナイロン、ポリエステルなど(化学繊維)
- テトラクロエチレンなど(ドライクリーニング)



農薬・殺虫剤・肥料

- D-シクロロベンゼン、フェニトロチオンなど



自動車

- ベンゼン、トルエンなど



塗料や接着剤

- トルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなど
- 酢酸ビニルなど(接着剤)



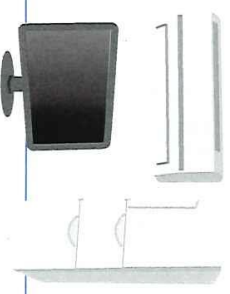
医薬品

- アセトアミノフェン、イブプロフェン、テトラサイクリンなど



家電製品

- PBDEなど(難燃剤)
- アルミニウム、鉄など(金属類)

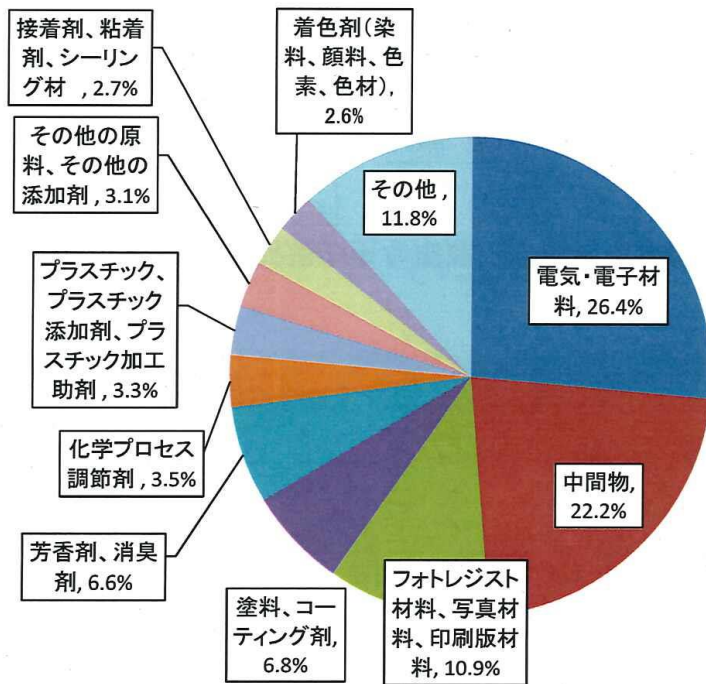


※ 1 環境リスクについては、100 ページをご参照ください。

<参考③> 少量新規制度の合理化案について

○例えば、スクリーニング評価の排出係数では、大半の用途の排出係数は、著しく小さく、全国上限枠を環境排出量に換算した場合、数量調整を行うことなく、多くの場合において、事業者の申出数量のまま確認可能と考えられる。

少量新規の主な用途（平成27年度）



用途と対応する排出係数一覧

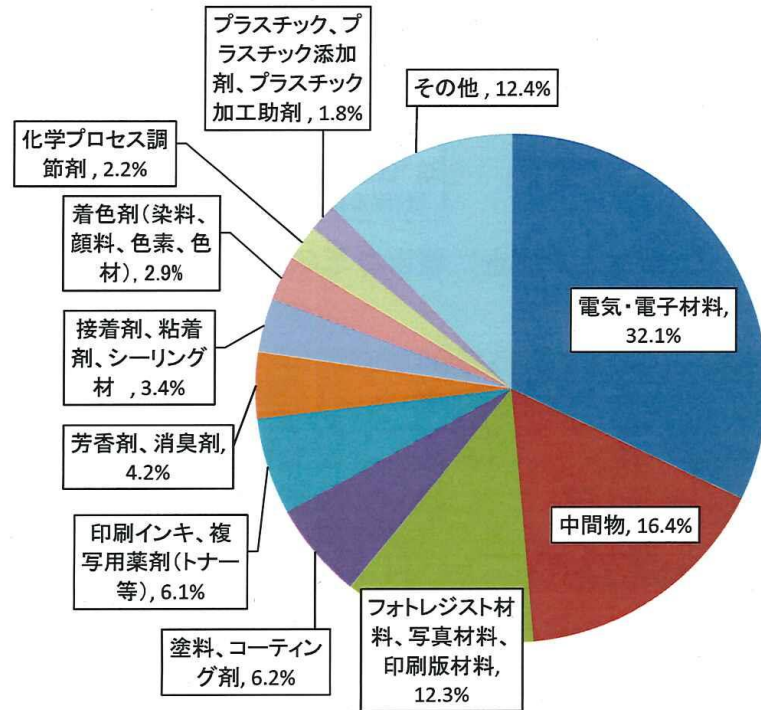
用途	排出係数
電気・電子材料	0.0012
中間物	0.0013
フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	0.008
塗料・コーティング剤	0.0013
芳香剤、消臭剤	1
化学プロセス調節剤	0.0007
プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	0.00094
その他の原料・その他の添加剤	1
接着剤、粘着剤、シーリング材	0.0011
着色剤（染料、顔料、色素、色材）	0.00024

2017年4月6日 参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会 日本共産党 武田良介 提出資料
 出典: 新規化学物質の審査特例制度の合理化について 平成28年11月28日
 経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 化学物質安全室
 環境省 総合環境政策局 環境保健部 環境保健企画管理課 化学物質審査室

<参考④> 低生産量新規制度の合理化案について

○例えば、スクリーニング評価の排出係数では、大半の用途の排出係数は、著しく小さく、全国上限枠を環境排出量に換算した場合、数量調整を行うことなく、多くの場合において、事業者の申出数量のまま確認可能と考えられる。

低生産量新規の主な用途（平成27年度）

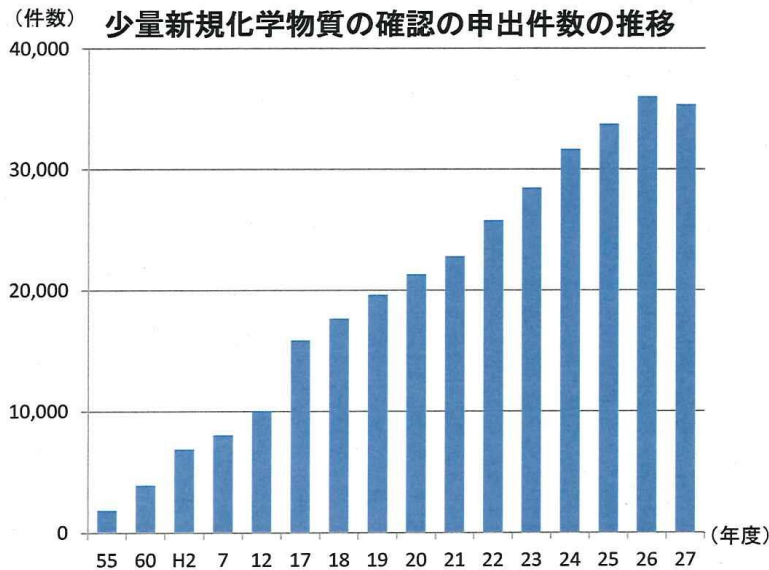


用途と対応する排出係数一覧

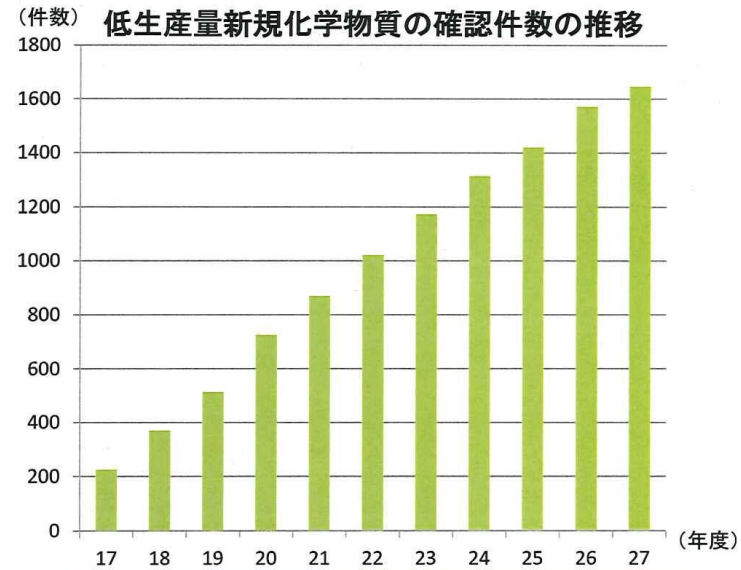
用途	排出係数
電気・電子材料	0.0012
中間物	0.0013
フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	0.008
塗料・コーティング剤	0.0013
印刷インキ、複写用薬剤（トナー等）	0.00108
芳香剤、消臭剤	1
接着剤、粘着剤、シーリング材	0.0011
着色剤（染料、顔料、色素、色材）	0.00024
化学プロセス調節剤	0.0007
プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	0.00094

<参考⑤> 数量調整件数の増加により行政コストも増加

- 少量新規と低生産量新規の申出・確認件数は毎年増加するにつれ、数量調整件数も毎年増加。
- 国による数量調整件数が増加すると、事業者の予見可能性が一層低下するのみならず、行政コストも増加する。



特例制度	H23fy	H27fy
少量新規	28,519件	35,360件
うち数量調整	3,138件	4,276件



特例制度	H23fy	H27fy
低生産量新規	1,175件	1,648件
うち数量調整	143件	248件

2017年4月6日 参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会 日本共産党 武田良介 提出資料
 出典: 新規化学物質の審査特例制度の合理化について 平成28年11月28日
 経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 化学物質安全室
 環境省 総合環境政策局 環境保健部 環境保健企画管理課 化学物質審査室